



NPO法人 あすみが丘国際交流

# Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流 No.81 2020.08. 25 発行 会員数 876 名(2020.02.01 現在)



住所 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘4-1-6 エクレール土気 101  
TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp  
Asumigaoka International Friendship Society = AIFS (アイフス)  
<https://www.npo-aifs.org/> <http://aifs.cocolog-nifty.com/blog/>

## 国際交流の必要性と必然性

あすみが丘国際交流の使命は、これからの若い世代に世界への視点に触れるチャンスを提供することだと考えています。以前にも増して、これからの若い世代と彼らが生きる日本という社会は国際社会と協力・協調しなければならないし、その一方で国際競争を勝ち抜かなければ生きていけないでしょう。何故なら

**労働力も国境を越える** . . . . .日本の少子高齢化→労働力不足→外国人を受け入れという流れは今に始まったことではありません。コンビニ・居酒屋に外国人がいて、農業・建設業・介護の現場には外国人が増えるという流れは続いていくでしょう。とっくに設計図面を描くことやソフト開発が中国などで行われ、コールセンターも海外拠点が増えています。(モノはとっくに国境を越えていて中国は世界の工場と呼ばれて久しく、次の拠点に移りつつあります)

**資本は国境を越える** . . . . .日本の外国人株主比率は2019年3月末で29.1%。これらの外国人株主を満足させることができなければ株価を維持できません。例えば「社外取締役を3割超にせよ」という海外株主の要求を無視して日本企業は運営できなくなっているのです。逆に日本からの直接投資はどんどん増えています。たとえばトヨタの海外生産は国内生産をとっくに上回っています。

**地球は一つ** . . . . .日本人が吸う空気もアメリカ人が吸う空気も中国人が吸う空気も大気という観点では1つであり、全ての海も繋がっています。地球温暖化により各国で異常気象となり激甚な自然災害が起こっていると言われていています。オーストラリアの旱魃による大火や日本の水害など枚挙にいとまがありません。地球温暖化を解消するには国際的な合意のもとに各国が努力するしかないことは明白でしょう。

**ネットは世界を覆う** . . . . .G A F A (Google、Apple、Facebook、Amazon、) と呼ばれる巨大プラットフォームが出現し大構造変化が起きています。新聞も書籍もCDも売れなくなっています。Amazonの力の前に米国の小売りは既に1万件以上も潰れ、日本でもこの影響を免れることはできません。また、ネットを通して働く社会では世界中の人間が競争相手となります。

**世界マーケット** . . . . .世界で通用しない商品・サービスは衰退してゆきます。日本の家電も半導体も携帯電話も世界に冠たるものだったのが今は見る影もない状態です。これからの製品やサービスは最初から世界マーケットで勝負をするつもりで開発しなければ日本企業も生き残っていきません。日本マーケットで成功を収めてから世界にでていくという従来通りのやり方では後れをとってしまうのです。また、昔のように「追いつき追い越すべき欧米」というモデルがない時代の製品開発には、国籍・宗教・性などの違いを超える多様性を許容する柔軟性がある社会の方がイノベーションを生みやすいと言われていています。

これから世界とともに生きていくにはお互いを理解しあわなければいけません、日本人だけ

のように阿吽の呼吸というわけにはいきません。言葉にしないとわからないし、共通のコンセプトがないとわかりあえません。あすみが丘国際交流では国連の提唱するSDGs（注1）をそれに据えれば良いと考えています。我々大人もそうですが、若い人達は世界の人々とコミュニケーションする時にこれを念頭において喋る必要があります。それは日本にいる外国人とコミュニケーションする時も同様です。これを念頭に置いた会話をすると、お互いがfairだと思えるような結論に達する可能性が増すことでしょう。違う人間が集まって暮らす以上、意見の違いは必ず出て来ます。その際にfairというのは重要なキーワードです。（ヨーロッパでの移民排斥運動はどうか？日本の女性議員・女性会社役員の比率は先進国中おそろしく下位だが？捕鯨は日本の伝統だから継続してよいのか？・・・・・・）これらは外国人との間の問題だけでなく、日本という社会を世界という観点から見直すことにも通じます。

人類は協調・協力しなければ生き延びられないし、国際協調・協力のベースになるのは国際交流です。国際交流の結果生みだされる個人同士の信頼があつてこそ国際協力といったものを生み出せるのです。国際交流というのは趣味でも娯楽でもなく、明日を担う人たちに世界との共生のためのスキルと理念を養うチャンスを提供する場なのです。また若い人達に「勉強せい」というだけでなく、我々大人も地球市民として世界と共生する実践を自らこの街で目指さねば彼らにそういう社会を残してやれないのです。

注1 持続可能な開発目標（英語：Sustainable Development Goals: SDGs〈エスディージーズ〉）とは国連の持続可能な開発のための国際目標であり、17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）から成る。17の目標については次回掲載の予定です。

「くらしのほんごくらぶ」の元生徒、Loringからの投稿です。彼はアメリカのアイダホ州出身で2016年から日本にいます。現在は英国大使館に帰属し江東区の中学校で英語を教えています。

## “Learning a Language, Making Many Friends”

Loring Brock

I fondly remember my time taking the free lessons offered by AIFS. Once or twice a week I would drop by for an hour or two to study Japanese. There were several different kinds of lessons, but usually we would be studying from a textbook. From dialogues to Kanji we had a variety of different topics we covered. The teachers were very flexible, and I was able to study just about any topic I had interest in. The very low student to teacher ratio also meant that I practically had my own Japanese tutor, which meant I was able to learn a lot more than if I was in a huge class with many other students. After the main lesson, we would have a short “teatime break” where we had light refreshments and held open conversation in Japanese. During my busy schedule it was a nice time to be able to relax and use the new Japanese I had just learned.



A lot of the Japanese I studied during these lessons helped me with my day-to-day life and I was able to understand a lot of the world around me using the Japanese skills I had gained. The lessons were also a good way to meet new people, both from Japan and abroad. It was wonderful to meet so many different people from so many different backgrounds. I really appreciated how many people were willing to volunteer their time to teach people Japanese. Japanese is not an easy language, but I was glad that I was able to get assistance from some native Japanese speakers.

Not only were the Japanese teachers willing to teach me, but they were willing to befriend me as well. I went on trips around Chiba with several of the teachers and was

able to go places I normally wouldn't have even known about. I've done several trips with one teacher in particular, Yoshiki Kobayashi, and together we've played tennis, gone hiking, and been to several festivals. I've made many memories with him and for that I'm very thankful I attended Kurashi no Nihongo Club and met him.

While becoming a part of a new community can be difficult and daunting, in particular if one is from a different country, AIFS and Kurashi no Nihongo Club were a great way for me as a foreigner to be able to interact and get to know other people from Chiba and to be able to better learn the Japanese language. I hope that other foreigners are able to join these lessons and have the same great experiences that I had during my time there.

#### 「上記英文の日本語訳です」

AIFS が提供する無料レッスンを受けた時間を懐かしく思い出します。週に 1、2 回、日本語を勉強するために 1 時間か 2 時間立ち寄りました。レッスンは様々な種類がありましたが、通常は教科書から勉強します。会話から漢字まで、様々なトピックを取り上げ、話し合いました。先生方はとても柔軟で、興味のあるトピックについて勉強できました。教師に対して生徒の比率が非常に低かったのは、私だけの日本語家庭教師が事実上いることを意味し、私は多くの学生がクラスにいる環境に比べてはるかに多くのことを学ぶことができました。メインレッスンの後は、軽食を楽しんで日本語でオープンな会話をする「ティータイム・ブレイク」をしました。忙しいスケジュールの中で、学んだばかりの新しい日本語をリラックスして使える時間でした。レッスンで勉強した日本語の多くは日々の生活に役立ち、日本語力を活かして、周りの世界を多く理解することができました。また、日本人や海外から来た新しい人と出会う良い方法でした。いろいろなバックグラウンドを持つたくさんの人に出会えたのは素晴らしいです。如何にも多くの人がボランティアとして日本語を教えてくれたか本当に感謝しています。日本語は簡単な言葉ではありませんが日本語のネイティブスピーカーから助けを得ることができてうれしかったです。日本人の先生たちは喜んで教えてくれただけでなく、喜んで私と仲良くしてくれました。何人かの先生と一緒に千葉を旅行し普段は知らなかった場所に行くことができました。特に小林芳樹先生と何度か旅行をして、一緒にテニスをしたり、ハイキングに行ったり、いくつかのお祭りに行ったりしました。彼と一緒にたくさんの思い出を作り、「くらしのにはんごくらぶ」に入って出会ったことにとっても感謝しています。新しいコミュニティの一員になることは難しく、勇気がいることですが、特に外国人であれば、AIFS と「くらしのにはんごくらぶ」は、千葉や他の様々な人と交流し知り合い、日本語をより良く学べる素晴らしい方法でした。他の外国人がレッスンに参加して、私がそこで得たものと同じ素晴らしい経験を持つことを願っています。

## 花いっぱい運動 春期花植え活動報告

6月16日火曜日、9時に総勢10名のボランティアが土気駅南口広場に集合。大型フラワーポット8鉢の植替え作業を実施しました。曇り空でしたが少し暑いぐらいの陽気の下、快調にスタート。赤、ピンク、黄色の小さな花を付けたベゴニアの苗を各人のイメージでフラワーポットに配置して植付け。作業をしていると、時々、通りすがりの人が「ご苦労様です。」と声をかけてくれます。ほっこりする瞬間です。シャベルで苗床を掘って、苗を入れ、土を被せ填圧。最後に散水ホースでたっぷり水をかけて終了。



\*今後、11月のパンジーへの植替えまでの間、水やりやその他の管理作業を行います。お手伝い頂ける方大歓迎です。気軽に声掛けしてください。

\*駅からのお帰りの際に終わってしまった花がらをちょっと摘んで処理いただければ、フラワーポットがより美しく保たれ非常に助かります。

問合せ 担当：小林 090-3240-0958

## 講演会開催のお知らせ

- 演題 「あすみが丘の古代の風景」  
“市内の墨書土器～あすみが丘を中心として～”  
塚原勇人(公益財団法人千葉市教育振興財団)  
“南河原坂窯跡～あすみが丘にあった窯業のむら～”  
山下亮介(千葉市埋蔵文化財センター)
- 参加費 無料
- 日時 9月27日(日) 13:30～16:30(開場13:00)
- 場所 あすみが丘プラザ 2F 多目的室
- 定員 25名(新型コロナ感染防止のため、ソーシャルディスタンスを保持しての開催です)
- 予約方法 下記のメールアドレス、またはFAXに住所、氏名、電話番号を明記の上、  
**9月16日(水)まで**にお申し込み下さい。後日ご連絡させていただきます。  
メールアドレス [aifs@eastcom.ne.jp](mailto:aifs@eastcom.ne.jp) FAX 043-294-9551

※新型コロナ感染拡大の状況により講演を中止させていただく場合があります。

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う AIFS 活動一部自粛のお知らせ

平素はNPO あすみが丘国際交流(AIFS)の活動にご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。ご承知の通り世界中に感染を引き起こした新型コロナウイルスの勢いは半年を経過した現在も感染拡大を続け、ワクチンや特效薬の開発も実効を期待できる状況にありません。その為、日常生活に於いては、出来るだけ3密を避け行動自粛を余儀なくされていますかかる状況下、AIFSの本年度計画のうち下記の事業を中止又は当面延期と致します。

1. 「スクールビジット」(留学生の土気高校訪問及び高校生との交流) **中止**
2. 「ホームビジット」(留学生のあすみが丘家庭訪問及び家族との交流) **中止**
3. 「くらしのほんごくらぶ」(近隣に住む外国人を対象とする日本語教室)

**9月に入った時点で再開の判断を行う**

尚、土気駅南口フラワーポットの花の植替え、水やり管理等「花いっぱい運動」は感染防止策を取った上、予定通り行います。

AIFS事務所は現在月・木午前中のみ開けています。訪問の際は、マスク着用をお願いします。アルコール消毒液は入口に設置しています。みなさまには何かとご不便をお掛けしますが何卒状況をご理解頂き今後ともご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

## 総会に関するお知らせ

2021年は理事・監事の改選期にあたります。新役員への立候補は12月20日までをお願いします。用紙はHPからダウンロードするか、FAXを要請または事務所まで取りにきていただきますようお願いいたします。

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染がパンデミックということで世界中に拡大しています。With コロナと言うことですが、各国で新型コロナウイルス対策用ワクチンを開発中との事であり、安心して生活が出来るようワクチンの実用化が早く進み終息に向かうよう願うばかりです。